

# バイクツーリングコットテント 取扱説明書

DBT571

本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本製品をご使用の際は必ず本書をお読みいただき、ご理解の上、正しくご使用ください。またお読みいただいた後も、この説明書は大切に保管してください。お買い上げ日、または商品到着日から30日間以内に製品に不足、不具合が無いかをご確認くださいませようお願いいたします。該当期間を過ぎた場合は、製品保証の対象外となる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

本製品はキャンプ用テントです。それ以外の用途では使用しないでください。製品に関する最新の情報、サポート情報等は、ホームページでご確認いただけますので、定期的にご覧ください。

## Instruction

Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product. This product is designed and manufactured for use in Japan only. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan. The importer shall be translate this instruction manual into the appropriate language for the users of this product. The distributor shall make the users of this product understand the contents of this instruction manual.



**警告**

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

● **テント・タープの近くや内部で火気を使用しないでください。**

- テント内部での使用は火災や一酸化炭素中毒などの原因となり大変危険です。
- テント・タープの近くであっても火気の使用により火災がおきる可能性があります。

● **テントを使用する際は、定期的に換気してください。**

- テント生地が濡れがベンチレーション機能の低下や通気性の悪化に繋がり、最悪の場合は酸欠により死に至る可能性があります。
- 定期的な換気を行うことで結露を低減することができます。

● **テント・タープはキャンプ場やキャンプ許可地域に設営してください。**

- 川原や中洲などの水の通り道は、急な出水の可能性があるので大変危険です。
- 地盤がしっかりとした水はけがよい平らな場所を選んでください。
- 崖の下や枯れ木の下など、上から落下物のある可能性のある場所は避けてください。

● **強風、大雨、落雷などの危険な状況下で組み立てや設営をしないでください。**

- 強風の場合、テント・タープをしっかり固定していてもつぶされたり吹き飛ばされたりする可能性があります。
- 風がない時を見計らって設営をしてください。

● **本製品のいずれかの部品に異常が見受けられた場合、また異常を感じた場合はただちに使用を中止してください。**

- 異常があるまま使用すると思わぬ事故に繋がる可能性があるため大変危険です。

● **小さなお子様のご使用になる場合、保護者の方はお子様から目を離さないでください。**

- 小さなお子様はボールの組み立てやペグ打ちの作業はさせないでください。
- 日中テントの中は高温になる場合があります。熱中症になる可能性があるため大変危険です。

- 二輪車へのキャリアバッグ取り付けは車両が倒れないように平坦な場所で行ってください。
- 過積載やかたよった積み方はしないでください。キャリアバッグが変形・破損するほか、転倒などの事故につながる恐れがあります。
- 走行前点検時に各部取り付け箇所にて緩みがないか確認してください。走行中に部品がはずれ、事故につながる恐れがあります。
- 取り付け後は必ず試験走行を行い、巻き込み、脱落の恐れが無い点検をしてください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。
- キャリアバッグにほつれなどの破損が見受けられる場合、直ちに使用を中止してください。
- 法定速度以上での使用はお避けください。
- 梱包用の袋は乳幼児や小さなお子さまにとって窒息の危険がともないます。開封後は速やかに処分してください。



## 注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- テント・タープの設営場所は、石や小枝をあらかじめ取り除いて整地してから設営してください。

○ テント・タープが破損するおそれがあります。

- 組み立て設置及び、解体撤去に際しては、安全の為、手袋を着用してください。

○ 可動部に手や指を挟んで、怪我をする場合があります。

- ベグやロープでしっかりと地面に固定してご使用ください。

○ テント・タープがたるんだ状態だと雨が溜まったり、テントの本来の性能が発揮されない可能性があります。

- 組み立て時や折りたたみ時には、本製品に無理な力を加えないでください。

○ パーツの破損の原因となる場合があります。また、破損したパーツで怪我をする可能性が大変危険です。

- コットの最大静止荷重は80kgです。

○ 耐荷重は測定値であって保証値ではありません。製品にかかる重量は積載物、積載方法によっても変わりますので、あくまで目安としてご使用ください。

- 安定した地面の上でご使用ください。

○ 平坦でない場所、濡れている・凍結しているなどの滑りやすい場所では使用しないでください。製品の破損・転倒の可能性があるため大変危険です。

- コットは完全に組み立ててからご使用ください。

○ 脚部フレームが確実にフレームポールに差し込まれ、固定されていることを確認してご使用ください。

- コットの上に飛び乗ったり、飛び跳ねたりしないでください。

○ ベッド本体の生地伸び、各パーツの破損につながります。また、転倒・ケガ等恐れぬ事故につながる可能性があるため、大変危険です。

- 直射日光の当たる場所では、長時間使用・放置しないでください。

○ フレーム部が熱くなり、変形する恐れがあります。

- 高温・多湿の環境で、長時間他の素材と密着させると、色移りが生じる可能性があります。
- 生地や各部の縫製は、無理な力を加えるなど乱暴な扱いをすると破損する恐れがあります。
- 製品をストーブなど熱源のそば、直射日光の当たる高温の場所などに放置しないでください。変形、変色、引火の恐れがあります。
- 二輪車への取り付けの際には、キャリアバッグ開口部がしっかりと閉じられているか、またしっかりと固定されているかを十分にご確認ください。発進時および、走行時にキャリアバッグおよび中身が落下し事故につながる恐れがあります。

## 快適にご使用いただくためのQ&A

### Q. テント内に浸水、雨漏りするのですが。

A. 結露が原因の場合がございます。定期的に換気を行ってください。ベンチレーターがある場合は開けておくことで結露が軽減されます。

防水加工が施されたテントやタープの生地は、外気との温度差が大きくなると水が垂れてしまうほど結露してしまう場合がございます。



### Q. テント・タープの縫い目から雨漏りがするのですが。

A. シームシーリング剤（目止め液）を塗布してください。

テント・タープは防水処理を施しております。しかしながら縫い目やジッパーの合わせ目など、構造上・生産工程上シームシーリングが施せない部分がございます。そういったところは雨量によっては浸水する場合がございます。より快適にテントをご使用いただくため、シームシーリング剤の使用を推奨いたします。（シームシーリング剤は付属しておりません。）また、シームシーリングの剥離、劣化による雨漏りが原因の場合もございますので、定期的にメンテナンスを行ってください。

### Q. テント・タープを使用後、保管方法はどのようにすればよいですか。

A. 使用後は汚れを拭き取り、乾燥させて収納してください。保管の際も高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所にしてください。

濡れたまま保管すると、カビ、腐食、劣化、防水/撥水機能の低下の原因となります。※汚れを拭き取る際、シンナー・ベンジン等の有機溶液の使用はご遠慮ください。色落ちや変色などの原因となります。

### Q. テント・タープの撥水性が弱まってきたのですが。

A. 市販の撥水スプレーを使用してください。

テントの撥水・防水加工はご使用を重ねると徐々に機能が低下します。※スプレーをご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。

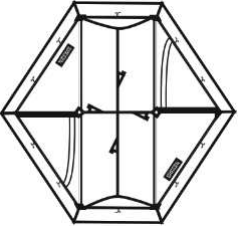



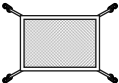
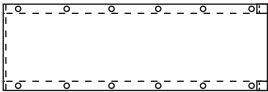

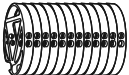



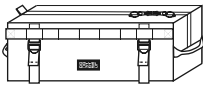





## 品質表示

材質	フライシート：ナイロン（PU2,000mm） インナーテント、キャリアバッグ：ポリエステル コット生地：ポリエチレン フレーム、ポール、ベグ：アルミ 脚部パーツA：ナイロン樹脂
コット耐荷重	80 kg
原産国	中国

## 各部名称・付属品

ご使用前に、本製品の付属品について不足がないか確認をしてください。  
 付属品に不足や損傷がある場合は、本説明書の末尾ページに記載の弊社お問い合わせフォームよりご連絡ください。

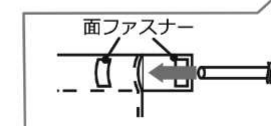
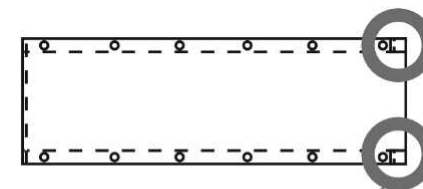
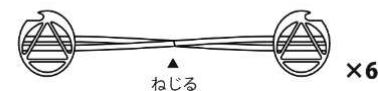
※初期不良対応期間は、お買い上げ日もしくは商品到着から30日間です。

 ①フライシート×1	 ②インナーテント×1	 ③グラウンドテープ×1
 ⑤前室用ポール×1	 ⑥天井メッシュ×1 ※インナーテント内部の天井に取り付けます。	 ⑦コット生地×1
 ⑧コット用フレームポール×2	 ⑨脚部パーツA (樹脂パーツ) ×12	 ⑩脚部パーツB (ポール) ×12
 ⑪Y型ペグ×10	 ⑫ストームロープ×4 ※⑬アクセサリ収納バッグに収納。	 ⑬キャリーバッグ×1
 ⑭テント用収納バッグ×1	 ⑮コット用収納バッグ×1	 ⑯コット脚部用収納バッグ×1
 ⑰アクセサリ収納バッグ×1	 ⑱コンプレッションベルト×1 ※テント収納用の締め上げベルト	

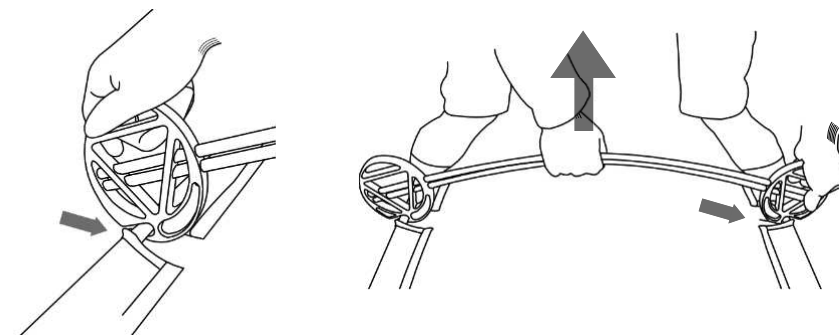
## 設営手順

### コットの組み立て

- ⑨脚部パーツAを左右で上下反転に設定し⑩脚部パーツBを2本ずつ差し込み、片側の⑨脚部パーツAをねじってスリットの位置を揃えます。
- ⑦コット生地の両端に⑧コット用フレームポールを組み立てて入れ、挿入口を面ファスナーで固定します。



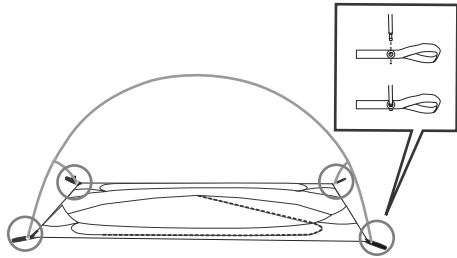
- コットの両端を足で支えながら、スリットから片側ずつ⑧コット用フレームポールに①脚部パーツを接続します。対面側を接続する際、①脚部パーツの中央を持ち上げるように曲げながら行ってください。



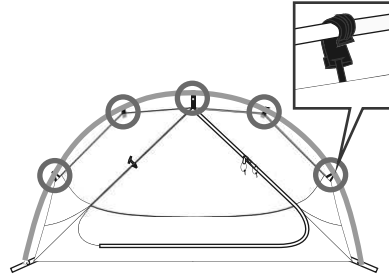
※脚部パーツはコットの中央部から、外側へ順番に取り付けてください。  
 ※脚部パーツの取り付けは無理な力で行うと、破損する恐れがあります。  
**※脚部パーツの取り付けは必ず手袋を着用してください。**  
 ※脚部パーツBは曲がる事によって荷重を分散する構造です。使用に伴い変形しますが設営上問題ございません。

## インナーテントの組み立て

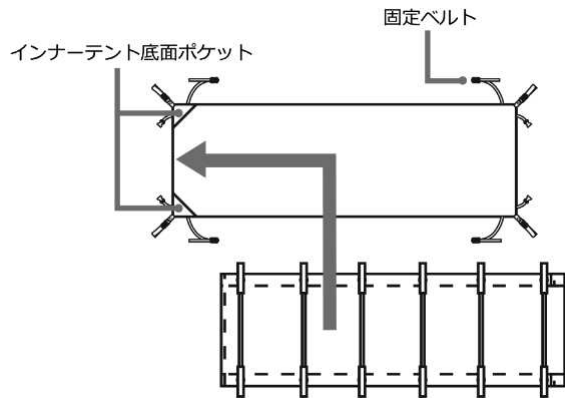
- 4** ②インナーテントを広げ、グロメットに組み立てた④三叉ポール先端を差し込みます。



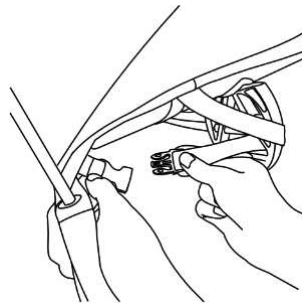
- 5** ②インナーテントのフックを④三叉ポールに取り付けます。



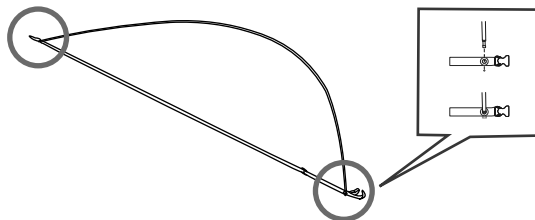
- 6** ②インナーテントの底面ポケットにコットを差し込みます。



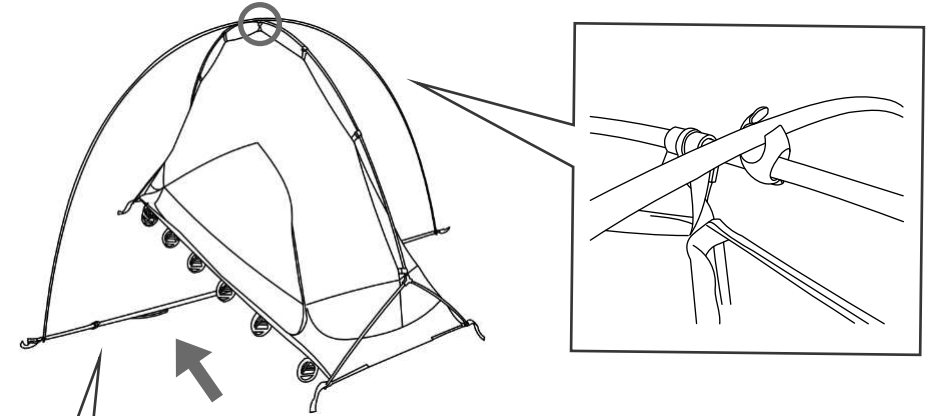
- 7** 固定ベルトを⑨脚部パーツAを経由してバックルで固定し、調整ベルトで締め上げ、コットとインナーテントを接続します。



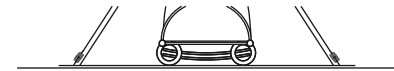
- 8** ⑤前室用ポールを組み立て、③グラウンドテープ両端のグロメットに差し込みます。



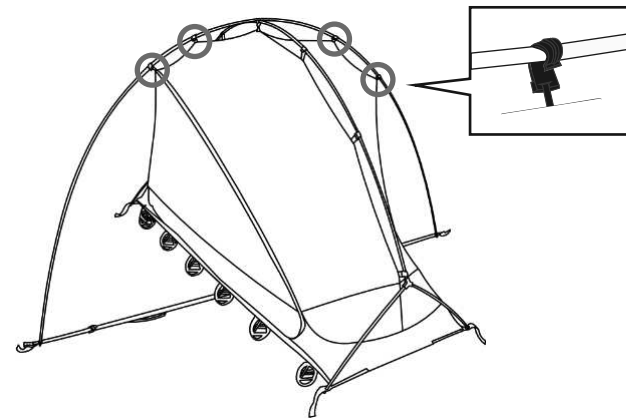
- 9** ⑧をテント本体中央に設置し、テント上部で⑤前室用ポールと④三叉ポールをフックで接続します。



※この時、③グラウンドテープとテント（コット脚部）が地面と同じ高さになるように③グラウンドテープの長さを調整してください。

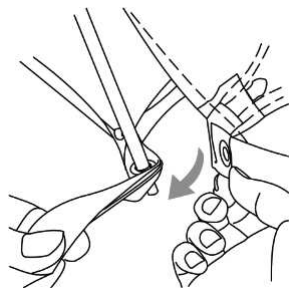


- 10** ⑤前室用ポールに②インナーテントのフックを取り付けます。

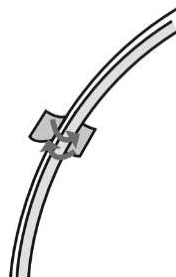


## フライシートの取り付け

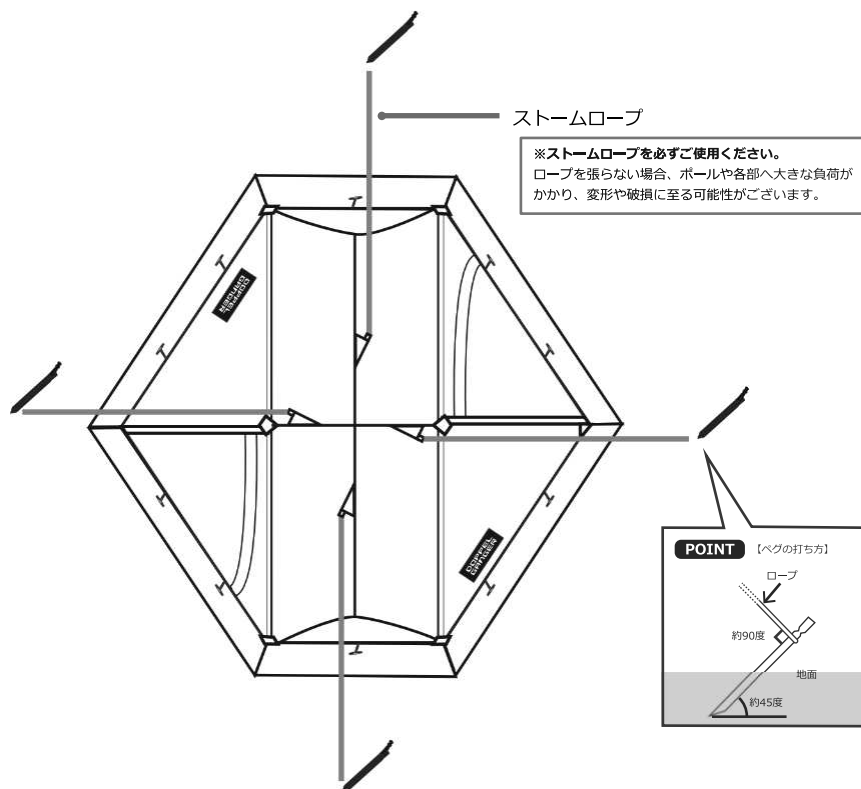
- 11** ①フライシートをかぶせ、**4**でグロメットに通した三叉ポールの先端に、フライシート内部のグロメットを差し込み固定します。



- 12** ⑤前室用ポールと②フライシートを面ファスナーで固定し、③グラウンドテープのバックルでフライシートを固定します。



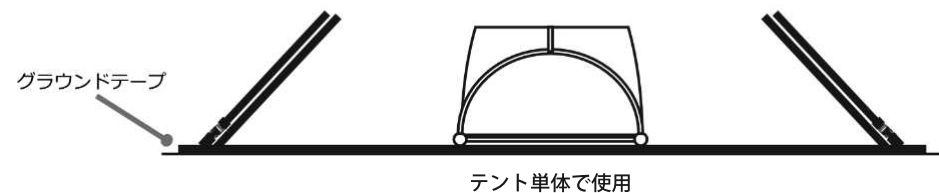
- 13** ⑩ストームロープと⑪ペグを使い、地面に固定します。



以上でテントの設営は完了です。  
※テントの撤収は上記設営手順と逆の順序で行ってください。

## テント単体での利用方法

テントとコットは分離して個別に利用できます。  
テントはコットと接続した状態と単体で使用する場合、グラウンドテープの長さを調節します。



- ◎コットとテントを接続した状態は、**グラウンドテープを短く設定**してください。
- ◎テントを単体で使用する場合は、**グラウンドテープを長く設定**してください。